



に、わが国では、現在医療  
社会が抱えているさまざまな  
間に求めているさだめな機  
要的に、三年間という短期  
間で応えるには学ぶ、教  
育が膨らみになりすぎて、  
量が膨らむにつれて、き  
つたが生まれたアゼンブ  
員とはよくかく学生の負担  
が多すぎます。それも一  
途に、一生懸命努力があ  
る学生姿をみると胸が痛  
みます。

全国臨床検査技師会が成  
願申し上げます。

中野浩生先生に、井上三  
君の医療へのとのかやッ  
フレースのもと、全力  
の育成に、  
り組んでおられます。本  
は、本学会が界に誇れ  
ものでないでしょうか

同窓会の皆様へ、  
うかこの精神で学べは、  
理解、ご支援をよろしく



藤田学園同窓会創立25周年記念講演会

# 活躍する藤田学園卒業生

創立二十五周年記念講演会「活躍する藤田学園卒業生」が、平成十七年十月二十九日(土曜日)午後六時三〇分から、名古屋市の全日空ホテルズ、ホテルグランコート名古屋七階のザ・グラントコートにおいて、藤田学園同窓会総会の後、来賓として山崎正雄理事長、中野浩学長、岸川輝彰学務学監をお招きして厳粛に開催されました。沖田洋治副会長(二代目会長)の開催宣言で始まり、近松均会長から、「同窓会は、初代会長藤田啓介総長先生がめざした『藤田学園の全ての卒業生の融和と協調』の精神を引き継ぎ、学園発展の良き後援者として、さらに飛躍させていきたい」との希望に満ちた誓いの挨拶がありました。講演会では、7つの学部・学校の同窓会から代表者がそれぞれの同窓会の卒業生の近況や活躍が報告されました。会場を満席にした約二百名の卒業生からは、記念講演会は、「7つの部会の相互理解をこれまで以上に深めることができたと思う」、「改めて卒業生や母校について考える良い機会になった」という声が多く聞かれ、二十五周年にふさわしい有意義な講演会になりました。



7つの学部・学校の同窓会から代表者が卒業生の近況や活躍を報告



沖田 洋治副会長



近松 均会長

## 藤田学園と共に歩む



看護専門学校の同窓会部会  
小島 登美香  
(昭和五十年卒 十回生)

昭和三十九年十月に故藤田啓介総長の英断で男女共学の南愛知看護学校が開校し、幾多

の変革が行われたが、看護科の卒業生は、二名、看護科の卒業生は、一、六二名となり、その多くが全国の医療・福祉の施設、基礎看護教育の現場で活躍していることが報告され、同窓会の願いは、今後、より多くの学生に藤田学園に入

## 同窓会の一員であることに誇り



医学技術専門学校の同窓会部会  
沖田 洋治  
(昭和四十六年卒 三回生)

平成十三年三月三〇日付をもって閉校した医学技術専門学校の三十二年

間の沿革、卒業生の総数(一、六八二名)、卒業生の活躍状況が報告され、いまは、「専学」という母校はなくなつたが、「藤田学園」ので、藤田学園同窓会の一員であることに誇りを持つて、他学校、学部

## 「実践力と創造力を 体得する学際的卒業研究」が文部科学省で採択



短期大学の同窓会部会  
横井 昭  
(昭和四十四年卒 一回生)

昭和四十四年四月に開学した短期大学は、平成十七年四月現在で卒業生総数が六、一七一

名になったことが報告されました。内訳は、衛生技術科五、三二一名、医療情報技術科四九〇名、専攻科二名、そして、専攻科・臨床工学技術専攻二九八名です。活動では、平成十六年七月三〇日に「実践力と創造力を体得する学際的卒業研究」が特色ある大学教育支援プログラムに採択されたことも報告さ

## 積極的に情報、学術交換の場を広げる



衛生学部の同窓会部会  
大塚 和久  
(昭和四十九年卒 三回生)

昭和四十四年五月に衛生学部衛生技術学科、衛生看護学科を開学し、そ

の後、診療放射線技術学科、保健学研究科、保健学専攻を開学、平成十六年四月にリハビリテーション学科を開学し、卒業生総数は六、三二二名に達したことが報告されました。同窓会としては、学園での役割を再認識し、在校生や在職者との積極的な情報交換や学術交換の場を企画し、教育と医療に貢献していくことが確

## 同窓会は大学の応援団



医学部の同窓会部会  
松山 裕一  
(昭和五十八年卒 六回生)

昭和四十七年四月に開学した医学部は、平成十七年四月現在、卒業生総数は二、八

一七名となり、卒業生の活躍が報告されました。また、卒業生の役割は極めて大きく、「同窓会」であることを再認識して活動すること。敬愛する母校を温かく見守り、助けていくこと。卒業生全員が母校に対する思いやりを持つて母校のための活動を実践することなど、母校への思いが熱く語られま

## 藤田コンピュータ専門学校の沿革



カスモス同窓会部会  
兼田 道男  
(昭和六十二年卒 一回生)

昭和六十二年四月に総合コンピュータ専門学校工業専門課程を開校し、平成三年四月に藤田コンピュータ専門

門学校に名称変更しましたが、平成九年五月に閉校されたことが報告されました。基調講演では、「二一世紀は、環境の時代」というテーマで、環境経営、環境を守る仕事、環境の資格など、地球が抱えている環境問題について興味深いお話がありました。学校は閉校になったが、藤田学園の一員としてこれからも頑張るとの力強い言葉がありました。

## 卒業生の臨床、研究面での顕著な活躍



リハビリテーション専門学校の同窓会部会  
永井 将太  
(平成七年卒 一回生)

平成十七年四月現在、六七六名の卒業生を輩出したことが報告されました。開学して既に十一回の卒業生を送り出したリハビリ専門学校では、この八年間、三年生全員が国家試験を合格し、近年では、国内外の関連学会での発表や各種受賞が増えており、臨床、研究面での活躍が目立っているとの内容が話されました。

しい学校であるが、平成十七年四月現在、六七六名の卒業生を輩出したことが報告されました。開学して既に十一回の卒業生を送り出したリハビリ専門学校では、この八年間、三年生全員が国家試験を合格し、近年では、国内外の関連学会での発表や各種受賞が増えており、臨床、研究面での活躍が目立っているとの内容が話されました。

## 藤田学園同窓会写真でみる25年の歩み

### 平成19年8月には生涯教育研修センター(15階建)完成!1フロアーに同窓会館!!



創立40周年を記念して完成した豊明キャンパス全景



昭和44年当時の豊明キャンパス(名古屋衛生技術短期大学および名古屋保健衛生大学衛生学部)



昭和44年3月の南愛知高等看護学院



学生に人気があるマクドナルドもオープン



誰でも利用できる食堂「レストピアふじた」が別館2階に開業



今では市バスも乗り入れています。



藤田学園創設者 総長藤田啓介先生像

学校法人藤田学園は、昭和三十九年九月四日設立され、本年創立四一周年を迎えました。記念誌「創設者 藤田啓介」激動の40年熱意と人となり」も刊行されました。創立から今日までの豊明キャンパスの推移は、まさに藤田学園と卒業生の歩みです。平成十九年には同窓会館が同居する生涯教育研修センターが完成する予定です。



藤田会館 フジタホール2000陶壁

藤田学園同窓会創立25周年記念懇親会

# 7つの部会の母校はひとつ、藤田学園！

## 待望の同窓会館建設に 会場から歓喜の拍手

藤田学園同窓会創立二十五周年記念懇親会後は記念講演会の後、同会場の隣りの会場で行われた。来賓を代表して、最初に山路正雄理事長がお祝いの言葉を述べられました。お言葉の中で学園創立五〇周年記念事業の一環として豊明キャンパスの医学部一号館の並びに「生涯教育研修センター（十五階建）」（平成十八年度、同十九年八月完成予定）を建設することを計画しており、同センター内の「フロアー」を同窓会館に、もう「フロアー」を総長先生記念館にすることが発表されると、会場からは歓喜の拍手が起こりました。理事長からは、同窓会の皆様が新しい生涯学習の拠点たる同窓会館のもとに集い、同窓会が益々発展されることを祈念するお祝いの言葉がありました。続いて中野浩学長からもお祝いの言葉があり、岸川輝彰学務学監の乾杯の音頭で、親睦会は華やかに開会しました。

会場内では、7つの部会の卒業生が部会を超えて恩師、同級生などの再会にあちこちで賑やかな会話が弾み、7つの部会の母校はひとつ、藤田学園を合言葉に、前途洋々、和気あいあい、新たなスタートを感じさせる希望に満ちた温かい懇親会でした。



お祝いに出席された右から山路理事長、中野学長、岸川学務学監

## 恩師、同級生との再会に会話が弾む！



衛生看護学科（五回生）山田さん（写真左）  
アセンブリ活動は卒業してから大いに役立った。これからも同窓会の連帯を大切にしていきたいですね



リハビリテーション専門学校（二回生）小松さん（写真右から二人目）  
現在、外部の病院で働いていますが、外に出ると一層藤田学園同窓会のありがたさがわかりますね



衛生技術学科（七回生）角田（旧姓伊藤）さん（写真右）  
「私がいた時と違い、立派なグラウンドで練習している野球部の後輩たちに、ますます活躍して欲しいですね」



## 前途洋々！新たなスタート！



30年ぶりの再開!!





## 藤田学園同窓会個人情報保護規程

### 個人情報保護方針

藤田学園同窓会(以下、本会という)は、個人情報保護することが本会定款第4条に定める事業活動の基本であるとともに、本会の社会的責任・責務であると考え、以下の個人情報保護方針を制定し、その確実な履行に努めます。

1. 個人情報の収集・利用・提供について  
個人情報の収集は、目的を明確にし、適法かつ公正な方法で行います。  
個人情報の利用は、法令に定める場合を除き、事前に明確にした範囲内でのみ行います。  
個人情報の第三者提供に関しては、法令に基づき適正な範囲内で対応します。

2. 開示・訂正請求等への対応  
本会は、個人情報について本人からの開示の請求があった場合は、合理的な期間、妥当な範囲内で対応します。  
個人情報に誤り・変更があって、本人から訂正等の要求があった場合は、合理的な期間、妥当な範囲内で対応します。

3. 個人情報の適正管理について  
本会は、収集した個人情報について、適切な安全対策を実施し、不正アクセス、改ざん、破壊、漏洩、紛失等を防止するために合理的な措置を講じます。

4. 法令及びその他の規範遵守について  
本会は、個人情報保護責任者を設置し、個人情報に関して適用される法令及びその他の規範を遵守します。

5. 個人情報保護・管理の継続的改善  
本会は、監査役により定期的に監査を実施し、個人情報の保護・管理の見直し、改善に努めます。

### 藤田学園同窓会個人情報保護規程

施行 2005 (H17). 4. 1

#### 第1章 総 則

(目 的)

第1条 この規程は、藤田学園同窓会(以下、本会という)の事業遂行上取り扱う個人情報を法令に則り適切に保護するために必要な基本事項を定めたものである。

(適用範囲)

第2条 この規程は、本会のすべての役員・委員及びその他個人情報を取り扱う会員に対して適用する。

また、個人情報を取り扱う業務を外部に委託する場合の委託先、及び労働者派遣法に基づく派遣労働者に対しても適用する。

#### 第2章 個人情報保護方針の策定等

(個人情報保護方針の策定・周知)

第3条 本会会長は、「個人情報保護方針」を策定し、内容を役員・委員等に周知し、理解させる。

(個人情報保護方針の公開)

第4条 本会会員等への公開は、「あけぼの杉」、藤田学園同窓会ホームページ等による。

#### 第3章 個人情報保護管理体制

(統括個人情報管理責任者)

第5条 本会会長は、統括管理責任者となる。本会理事及び担当委員等は、個人情報保護規程を遵守するとともに互いに連携して漏洩等の事故防止に努める。外部委託

業者等には、「個人情報等の取り扱いの委託に関する確認書」の提出を求める。

#### 第4章 個人情報保護の措置

(個人情報の収集)

第6条 個人情報の収集は、適法かつ公正な手段をもって、本会の行う事業を達成するために必要な限度においてのみ行わなければならない。

(個人情報の利用)

第7条 個人情報の利用及び提供は、情報主体が同意を与えた利用の目的の範囲内で行うものとする。

個人情報の利用目的は以下のとおりとする。

- (1) 会員名簿の発行
- (2) 機関誌「あけぼの杉」への記事掲載

(3) 総会・各部会総会・委員会等の開催通知

(4) 配布物の発送及び講演会等の催し物の案内

(5) 通知文書の会員への周知徹底

(6) 各部会との連携

(7) 母校との連携

(8) その他本会業務を遂行するために必要な行為

(個人情報の適正管理)

第8条 個人情報を適正に管理するために次のことを行う。

(1) 正確性の確保  
個人情報について、正確かつ最新の内容に保つよう努めなくてはならない。

(2) 安全性の確保

取得した個人情報に関するリスク(不正アクセス・改ざん・破壊・漏洩・紛失)に対して、合理的な安全対策が講じられなくてはならない。

(3) 委託先管理

本会が業務を委託するために個人情報を外部へ預託する場合、個人情報が損なわれることのないよう、適切な措置がとられなければならない。

(個人情報に関する情報主体の開示・訂正請求等に関する権利)

第9条 情報主体から事故の情報について開示を求められた場合は、速やかに対応しなければならない。

開示の結果、誤った情報があり、訂正又は削除を求められた場合は、原則として合理的な期間内に対応しなければならない。

(苦情及び相談)

第10条 本会事務局は、個人情報の取り扱いに関する相談窓口となり、苦情等の適正かつ迅速な処理に努める。

#### 第5章 内部監査

(監査)

第11条 本会監事は監査役となり、個人情報保護の運用について監査し、法令等の遵守を最良の状態に維持するように努める。

#### 第6章 規程の見直し等

(規程の見直し)

第12条 社会情勢や情報主体の意識の変化、施行状況ならびに監査の結果等を考慮し、本規程を見直すものとする。

個人情報に関する問い合わせ

〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

藤田学園同窓会事務局

Tel & Fax : 0562-93-5674

## あ け ぼ の 杉

平成16年度 藤田学園同窓会収支計算書  
自 平成16年10月10日  
至 平成17年10月9日  
(単位:円)

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
会費収入	医学部	3,000,000	3,000,000	0	0	医学部	100名		
会費収入	衛生学部	8,310,000	8,310,000	0	0	衛生部	277名		
会費収入	短大	4,770,000	4,770,000	0	0	短大	159名		
会費収入	看護	1,800,000	1,800,000	0	0	看護	60名		
会費収入	リハビリ	1,860,000	1,860,000	0	0	リハビリ	62名		
雑収入		30,000	36,117	6,117		新年会会費	23000円		
						過剰納金還付金(法人市民税)	12500円		
当期収入合計		19,770,000	19,776,117	6,117		利息	617円		
前年度繰越金		9,491,638	9,491,638	0					
合 計		29,261,638	29,267,755	6,117					

支出の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
会議費		250,000	227,712	22,288		総会・役員会等			
助成費		250,000	△250,000	△250,000		支部設立助成費	100000円		
学術費		300,000	100,000	△200,000		部会助成費	150000円		
事業費		5,800,000	5,440,000	△360,000		生物材料分析学会	100000円		
						50周年記念事業寄付金	500000円		
						私立大学連合会会費	60000円		
						いこの広場	340000円		
						私立大学連合会総会・懇親会	40000円		
						あけぼの杉同窓会			
						ササト ユリカ			
						名簿作成引当金			
						通信費、郵送料、コピー代等			
						個人情報漏えい保険掛け金	100,000円		
						藤田学園同窓会奨学金基金			
						記念事業基金積立			
奨学金基金		500,000	500,000	0	0				
記念事業基金		4,000,000	4,000,000	0	0				
予備費		2,000,000	0	△2,000,000					
当期支出合計		22,750,000	18,435,601	△4,314,399					
次年度繰越金		6,511,638	10,832,154	4,320,516					
合 計		29,261,638	29,267,755	6,117					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

支出の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
奨学金貸与		3,000,000	1,100,000	△1,900,000		2名			
雑費		0	630	630		振込料			
次年度繰越金		40,422,372	41,871,299	1,448,927					
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,871,299	41,392,372	478,927					
合 計		43,901,299	42,971,929	929,370					

支出の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
奨学金貸与		3,000,000	1,100,000	△1,900,000		2名			
雑費		40,901,299	41,871,299	970,000					
次年度繰越金		43,901,299	42,971,929	929,370					
合 計		43,901,299	42,971,929	929,370					

平成16年度 藤田学園同窓会収支計算書  
自 平成16年10月10日  
至 平成17年10月9日  
(単位:円)

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

支出の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
奨学金貸与		3,000,000	1,100,000	△1,900,000		2名			
雑費		0	630	630		振込料			
次年度繰越金		40,422,372	41,871,299	1,448,927					
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

収入の部		予算額		決算額		増 減		適 要	
科 目									
一般会計より		500,000	500,000	0					
返還収入		1,500,000	981,000	△519,000		5名			
雑収入		30,000	98,557	68,557		利息	4557円		
前年度繰越金		41,392,372	41,392,372	0		全学合同謝恩会寄付	94000円		
合 計		43,422,372	42,971,929	△450,443					

||
||
||

A circular portrait of Dr. Shiro Kikuchi, a middle-aged man with grey hair and glasses, wearing a dark suit, white shirt, and patterned tie.

山田 敬喜

内容を抜粋しますと、大立場から臨床検査部門の領域を超え、J A岐阜厚生教育が普遍化した今日、学教育が軽視される風潮ではあるが、本学のような医療系では専門を纏めて知的好奇心を満たし、人格の形成における切実琢磨に必要十分な環境が提供されることを最大の基準として、体制改革（公的医療費抑制策・混合診療解禁、包括医療）を最大の基準として、点して、経営サイドでは組織活性化の推進は急務であり、促進時期制度・人事異動促進、変形労働時間活用・人事考課制度の充実を

卒後三〇年、五回目の同窓会を楽しむ

中京女子大学健康科学部栄養科学科  
(衛生学部衛生技術学科四回生) 小塚 諭

次回「認知症介護友の『ぎる』との意見から、三年る。会にいつ参加するかもわからない。五年間隔では遅すに開催される予定であ面々は是非に参加を。

藤田保健衛生大学看護専門学校 吉川 英治  
(衛生学部衛生看護学科14回生)

た。

会の状況はいたしまして  
は、五一階から見下ろす名義で  
古屋の夜寮へおいしは料理  
理。そして、恩師の先生と  
我々にしては同級の痛く  
話。同級生との語ら  
学生時代にタムスリッパ  
いしました。同窓生々々  
に顔を合せて  
「変わってないな」「変わっ  
てないやん」「変わらんわ  
はん」といふ少しの方言が  
の違いはありますが、これ  
が今回のキーワードなのだ  
に思いました。この言葉の  
意味には、「二年も経って

小池久先生、Dクラスの担任をして頂いた内藤純子先生にもご出席して頂きました。

我々は「医療現場で患者のケアに向かう者」「臓器や検体と向き合う者」「学教育、専門研究に勤しむ者」が、家庭で家族や社会に包み込んでくれる者、それれに力尽きていく者、それ、四、五歳代を迎える者、社会の中の責任、家庭の役割、職場の責任、人間としての倫理、また、二つにわたるものや、押つぶされる頃でもあられる者です。この成るの期であります。自分の命を迎え、我々は、まず、自分のすべきことは、自分のベールで、その勇気と忍耐を持って、一人も

学、医療の中、その先端を歩む母校の姿を改めて、確認することができました。

我々は、医療現場で患者

藤田保健衛生大学・衛生学部 第14回卒業生 20周年同窓会  
(名古屋マリオットアソシアホテル 2005.9.18)

業生のみなさんの反響なし。感謝いたします。  
にはこの会は成立しなかつてはまた、お会いしな  
う。  
たものと思います。我々、  
幹事といまして皆様に

「この広場コンサート  
二年間の活動を通して」

A circular portrait of Dr. Yoko Kikuchi, a woman with short dark hair, wearing a dark top, against a light background.

しました院内コンサートを通じて、そこに立ち会っていただき、また多くの皆さんに大いに感謝して、楽しみ、感動し、喜んでいます。今回、コンサートは、まだ、こうしたべを始めて強盛だったのは、音楽療法の一環として、わたしの周りの多くの方々が、とても協力的に見守って下さっていることでした。衛生本部・養護環境、QOLの向上に、高崎昭彦先生、大橋だに役立tingことができたことを嬉しく思います。会は、六分ほのコンサートは、六分ほのコンサートは、看護婦長を始めとす

【平成16年度 いこいの広場コンサート《開催実績》】  
(平成16年4月～平成17年1月)

回 数	月例会	開催日	タイトル	演奏者・演奏団体
第1回	4月例会	4月3日	アコーディオンと共に	吉川英夫
第2回	5月例会	5月8日	三味線・ピアノ・ソプラノと共に	小林昌昌 鹿島敬子 松田真谷子
第3回	6月例会	6月12日	オカリナと混声合唱と共に	藤田学園混声合唱団 "Chor Fr_schlein" オカリナデュオゆうあい コール・ペパーミント
第4回	7月例会	7月3日	女声合唱と共に	ABーRingers
第5回	〃	7月10日	ハンドベルと共に	矢野裕章 プア・ケネケニ
第6回	8月例会	8月7日	マジック＆フラダンスと共に	伊藤いろ子マリンバスタジオ
第7回	9月例会	9月11日	マリンバと共に	大清水小学校 P T A コーラス
第8回	10月例会	10月2日	女声合唱と共に	スカイ・ママ
第9回	〃	10月16日	女声合唱と共に	オカリナそよ風
第10回	11月例会	11月6日	オカリナと共に	オカリナユニット2004
第11回	12月例会	12月11日	琴・三絃・尺八と共に	豊明若草会
第12回	〃	12月18日	大正琴と共に	アゼンソリ "フォークギター&フォークソング" 班
第13回	1月例会	1月15日	琴・三絃・尺八と共に	豊明音楽会

# 学園祭を開催して

学園祭実行委員長  
（藤田保健衛生大学医学部三年）  
**鈴木 祥吾**

The top photograph shows a street scene with a large pink banner hanging from a pole. The banner features a pink flower and the text "10/25(SUN)-30(TU) FUJIWARA FESTIVAL VIBRANTAL". The middle photograph shows a group of people on a stage with a large red heart backdrop. The bottom photograph shows a group of people in traditional Japanese clothing on a stage with a large red heart backdrop.